

逗子市令和3年度の重点的な取組み

令和3年度に実施するものとして

○危険な崖地対策の強化

- ・令和3年度当初予算：崖崩れの防止対策に係る費用2億3,100万円
前年度当初予算と比較して1億6,100万円の増
- ＜内容＞市有地…緑地法面防護工事や緑地管理伐採など5,200万円
令和元年度調査による要対策箇所2,900万円
- 民有地…崖地の防災工事助成金800万円（前年320万円）
危険木の伐採工事助成金100万円
急傾斜地崩壊対策事業1億4,100万円（前年6,400万円）

【令和2年度補正予算による崖地対策】補正予算額：1億9,590万円

（防止対策）

- ・職員による現地調査の結果、早急に対策が必要とされる4箇所：3,520万円
- ・緑地の崖崩れ防止対策：7,690万円
（復旧工事）
- ・崩落個所の防護工事：2,740万円
- ・新宿65号（ロードオアシス）：380万円（2か年継続費の1年目）
- ・池子2丁目：5,260万円

○交通渋滞対策の検討着手

- ・JR逗子駅周辺をはじめとする主要な道路の渋滞対策のための予備調査：400万円
- ・JR逗子駅前の歩行空間等の向上のための基礎調査：252万円

令和4年度の実施に向けての検討として

○公共施設の老朽化対策の財源の検討

厳しい財政状況においては、十分な財源を確保することは難しいと言わざるを得ないが、老朽化対策は確実に進めていく必要性から、令和4年度予算編成に向けて財源確保のための財政運営の考え方について検討する。

○中学校給食の食缶方式への移行準備

- ・平成26年10月から中学校給食をボックスランチ方式で提供
- ・喫食率が68%と開始当初から比べ低下、食べ残しが多い
- ・衛生管理上、一度冷ます必要があり、おかずなどが冷たい
⇒令和4年度中に温かい給食が提供できる食缶方式へ移行する準備を進めていく。

新型コロナウイルス感染症対策

- ・対策費用は1,285万円
- ・ワクチン接種に係る費用は4億4,484万円を令和2年度補正予算に計上
- ・国の令和3年度地方創生臨時交付金は概算見込み1億8,000万円
⇒必要な対策を検討のうえ、補正予算による対応を予定